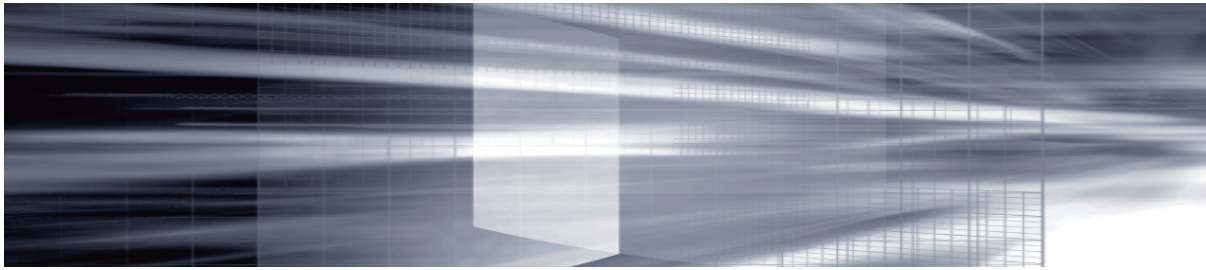



Endeavor AT992E

スタートアップガイド

Windows 7



- 1 梱包品を確認する  p.2
- 2 各部の名称  p.4
- 3 コンピューターを設置する  p.6
- 4 Windowsをセットアップする  p.13
- 5 セットアップ後の作業  p.17
- 6 ユーザーサポートページ  p.21
- 7 PCお役立ちナビを使う  p.22
- 8 安全にお使いいただくために  p.24
- 9 機能仕様一覧  p.28

情報マップ 知りたい情報はどこにある?  裏表紙

1 梱包品を確認する

はじめに梱包品がそろっているか確認します。万一、梱包品の不足や不良、仕様違いがありましたら、商品お届け後 8 日以内に受付窓口までご連絡ください。詳しくは、[別冊](#)『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。



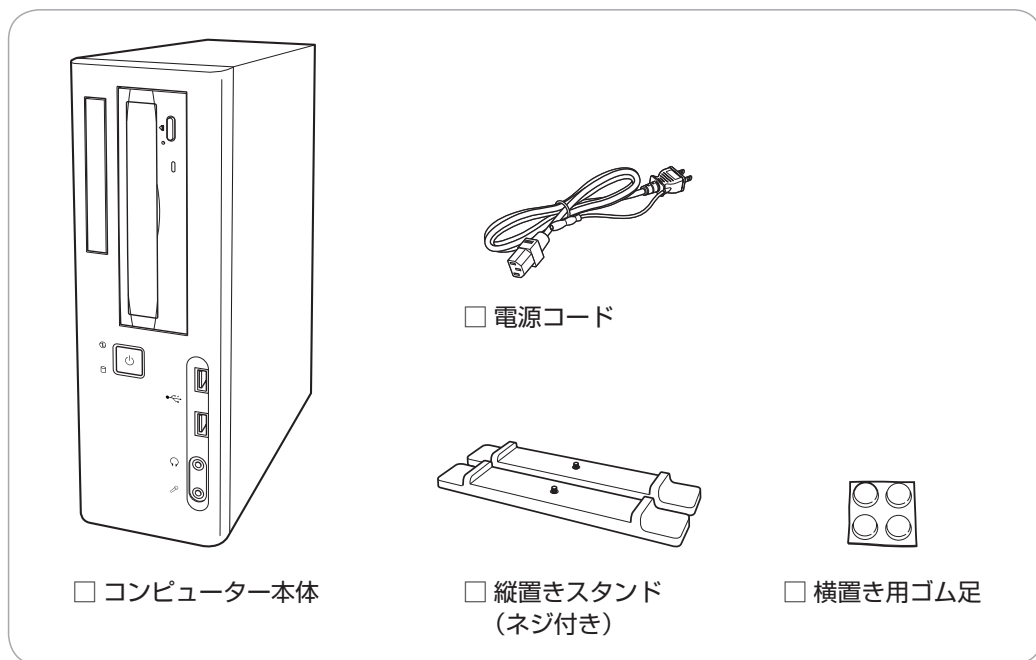
参考

保証書について

当社では、ご購入日や保証サービスなどのお客様情報をデータベースで登録・管理しています。このため、保証書は添付されていません。

1 ハードウェアを確認する

ハードウェアがそろっているか、確認してください。



※ このほかにもオプション製品が添付されている場合があります。
オプション製品は納品書でご確認ください。

2 ディスクを確認する

ディスク類がそろっているか、確認してください。

- Windows 7 リカバリー DVD
- リカバリーツール CD

※ 本機のドライバーやソフトウェアのインストール用データは、HDD の消去禁止領域に収録されているため、ディスクは添付されていません。

※ このほかにもオプション製品のディスクが添付されている場合があります。

3

マニュアルを確認する

マニュアル類がそろっているか、確認してください。

冊子マニュアル

- スタートアップガイド（本書）
- サポート・サービスのご案内


電子マニュアル（HDD 内に PDF データで収録されています p.23）

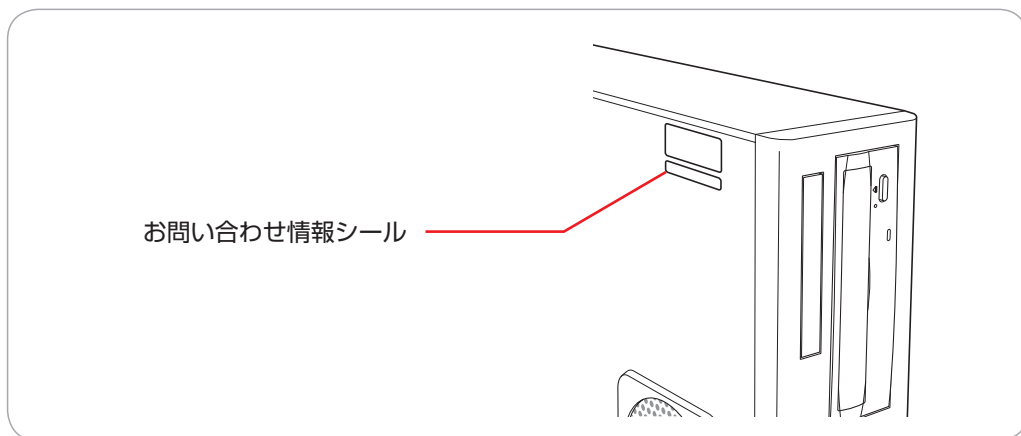
- ユーザーズマニュアル（PDF）
- セキュリティー機能（TPM）設定ガイド
- オプション製品のマニュアル

※ このほかにも冊子や電子でマニュアルが添付されている場合があります。

4

製造番号を確認する

本機に貼付されている「お問い合わせ情報シール」で、本機の製造番号を確認してください。製造番号はお問い合わせの際に必要です。  『別冊』『サポート・サービスのご案内』の表紙に書き写しておいてください。



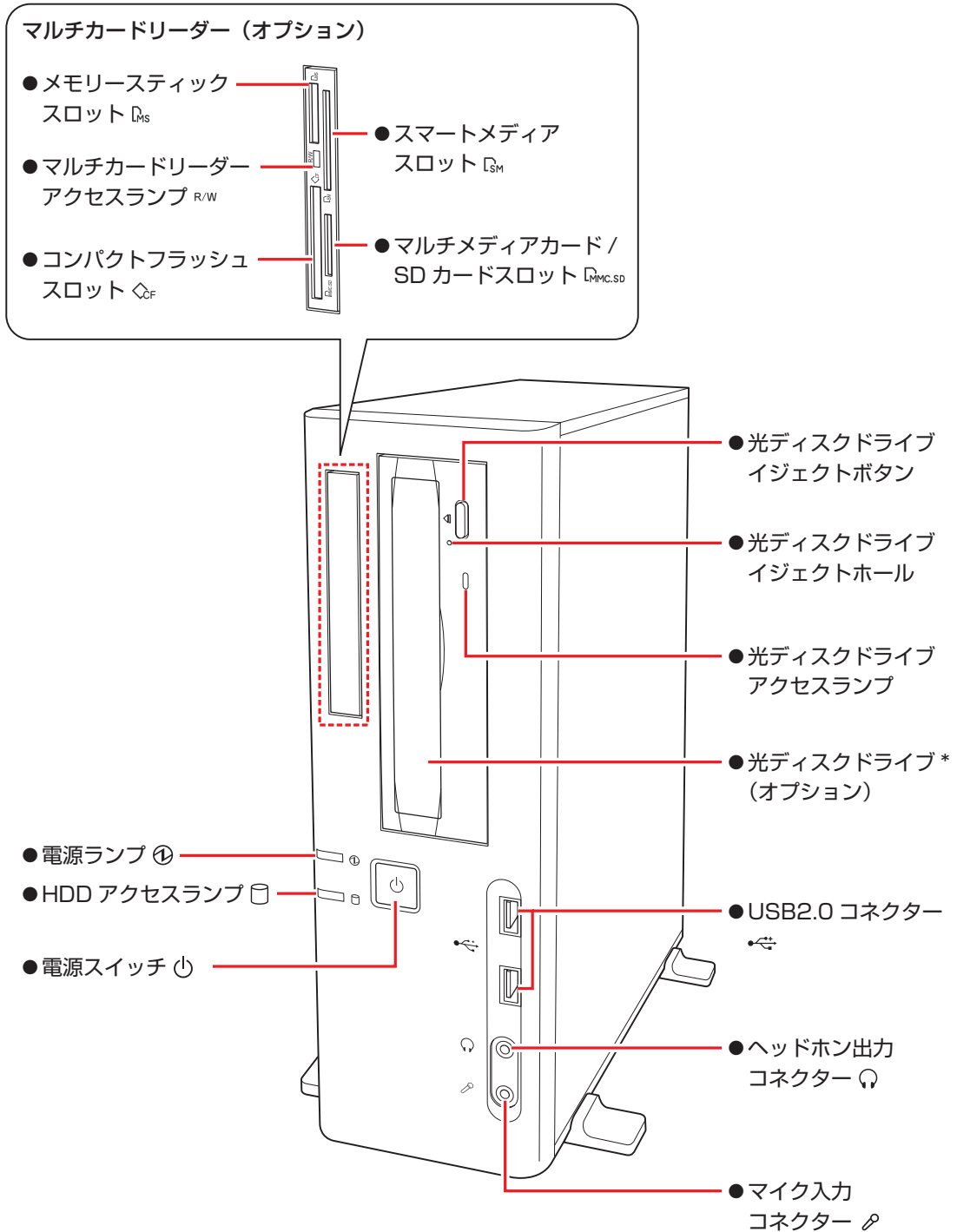
製造番号は、次の場所でも確認できます。



「PC お役立ちナビ」－画面下 [製品情報]

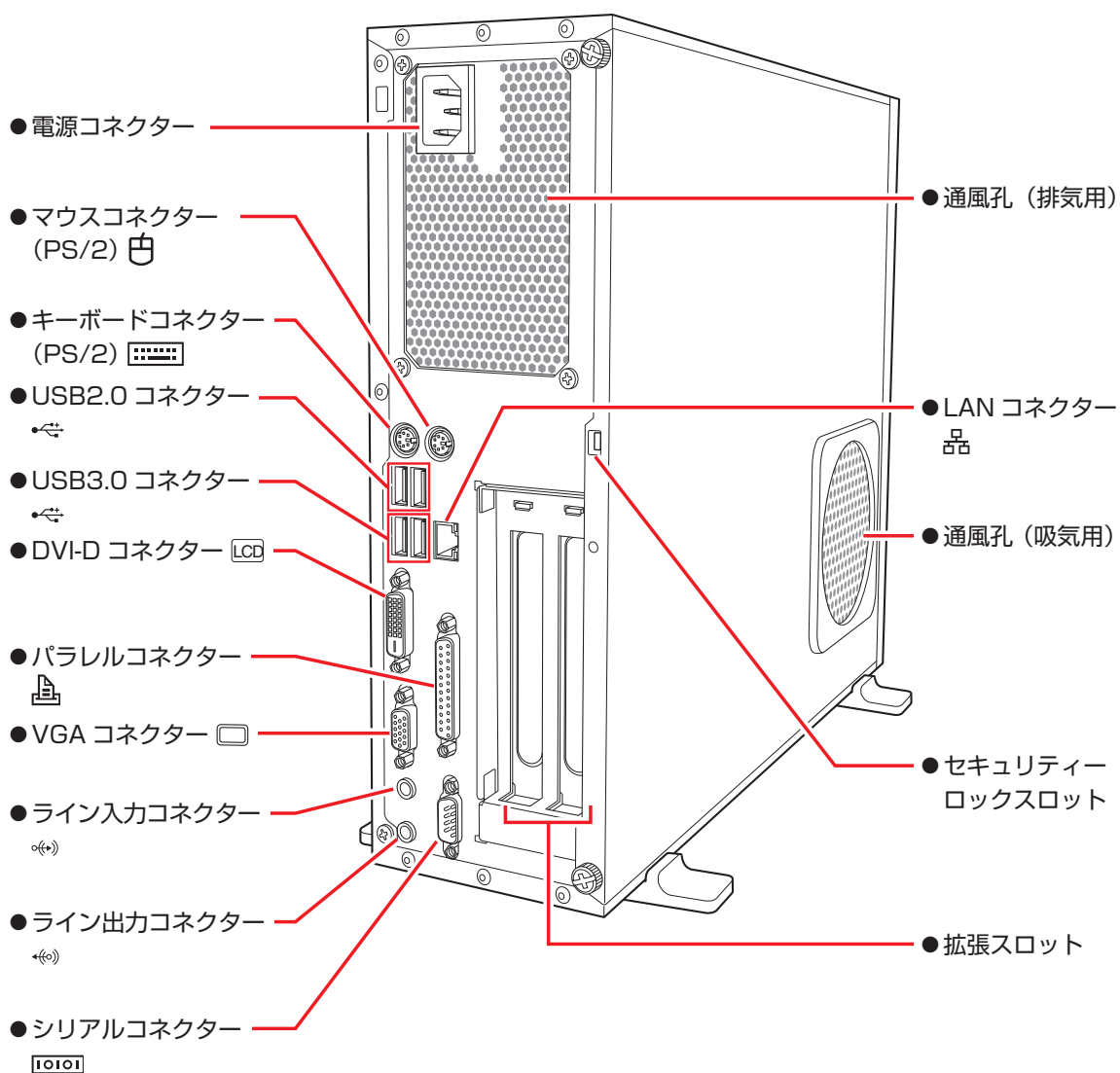
2 各部の名称

本体前面



* イラストはイメージです。光ディスクドライブの種類によって、各部の位置や形状などは異なります。

本体背面



3 コンピューターを設置する

本機を設置し、使用できる状態にする手順を説明します。プリンターなどの周辺機器は、Windows のセットアップ後に接続してください。

設置における注意



注意

- 不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。
- 本機の通風孔をふさがないでください。
通風孔をふさぐと、内部に熱がこもって本機が熱くなり、火傷や火災の原因となります。設置の際は、次の点を守ってください。
 - ・押し入れや本箱など風通しの悪いところに設置しない。
 - ・じゅうたんや布団の上に設置しない。
 - ・毛布やテーブルクロスのような布をかけない。

各種コード（ケーブル）接続時の注意



警告

- 本機には、必ず同梱された電源コードを使用してください。また、同梱された電源コードは、ほかの製品に使用しないでください。感電・火災の原因となります。
- 電源コードのたこ足配線はしないでください。発熱し、火災の原因となります。家庭用電源コンセント（交流 100V）から電源を直接取ってください。
- 電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。
取り扱いを誤ると、火災の原因となります。
 - ・電源プラグは、ホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
 - ・電源プラグは刃の先まで確実に差し込む。
 - ・電源プラグを長期間コンセントに差したままにしない。
 - ・コンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らず、電源プラグを持つ。
 - ・電源プラグは、定期的にコンセントから抜いて、刃の根元や刃と刃の間を清掃してください。



注意

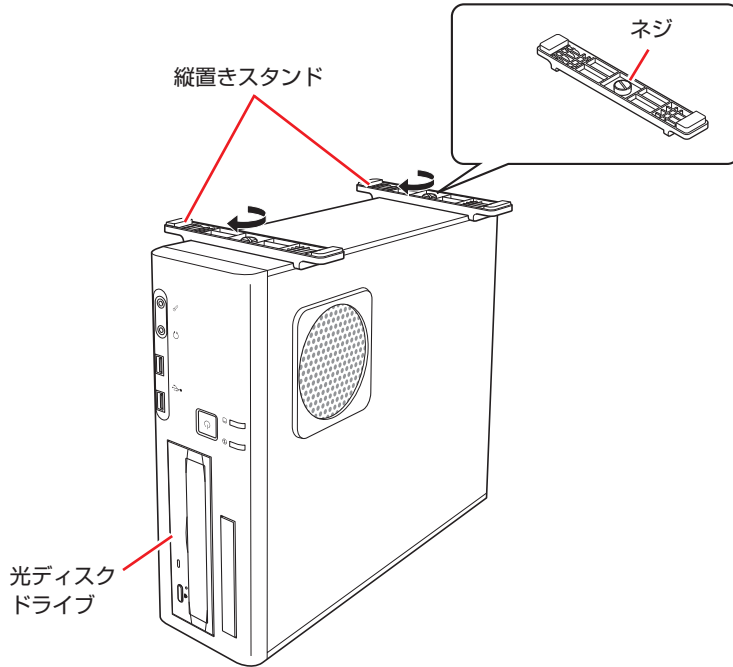
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 各種コード（ケーブル）は、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。配線を誤ると、火災の原因となります。

- 1** 本機を縦置きまたは横置きどちらにするか決め、設置準備を行います。

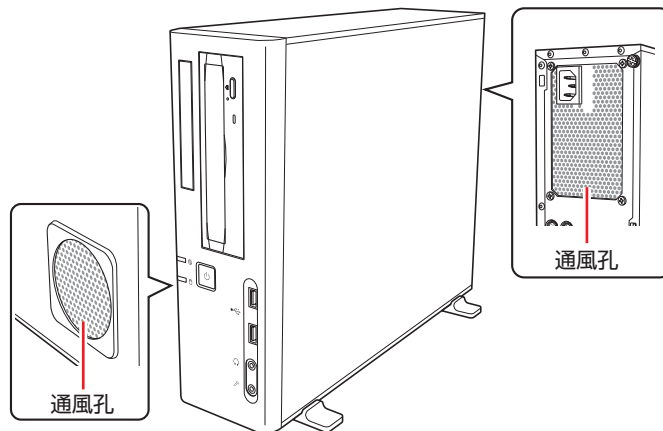
縦置きにする場合

転倒防止のため、必ず縦置きスタンドを取り付けてください。

- 1** 光ディスクドライブ側を下にして置き、縦置きスタンドを取り付けます。

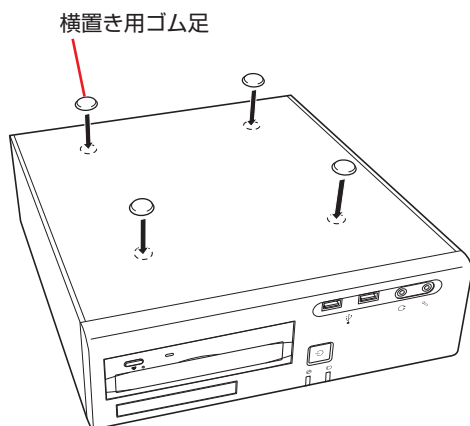


- 2** 縦置きスタンドを下にして置きます。
通風孔をふさがないように設置してください。

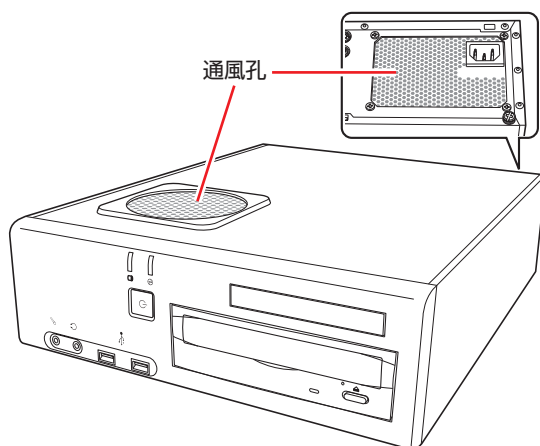


横置きにする場合

- 1 通風孔のない面に、横置き用ゴム足（4 個）を取り付けます。



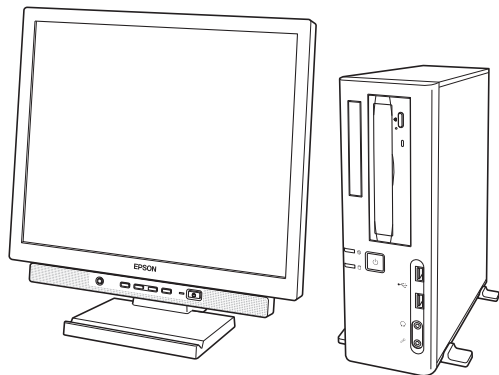
- 2 ゴム足を付けた面を下にして置きます。
通風孔をふさがないように設置してください。



！ 制限

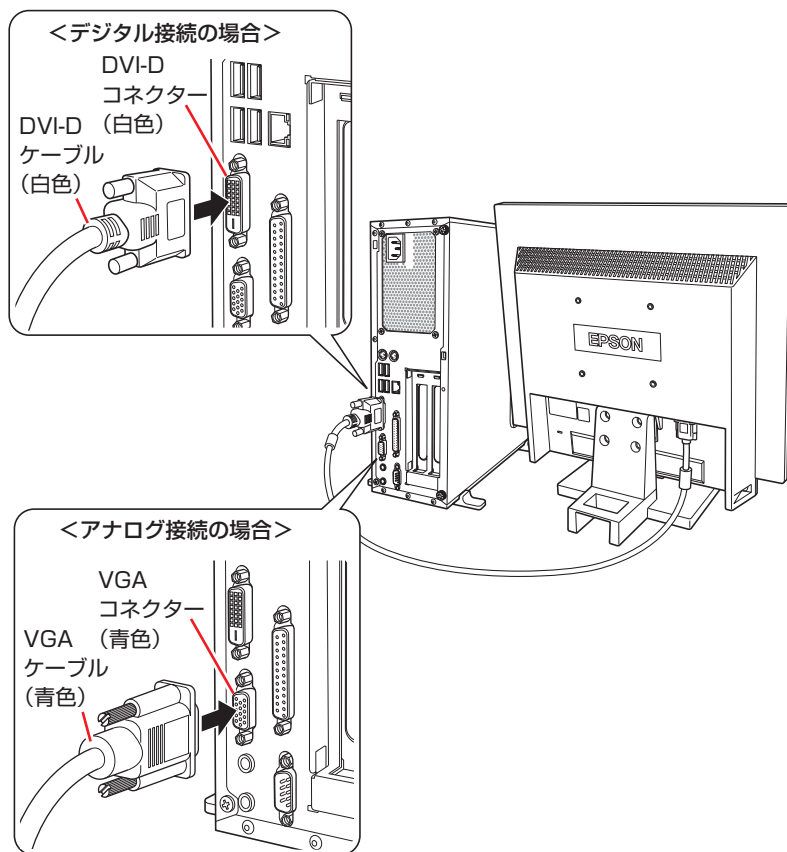
- 本機の上に載せられるディスプレイの重さは、18kg までです。18kg より重いディスプレイは載せないでください。
- 本機の上にディスプレイを載せるときは、通風孔をふさがないようにしてください。

- 2** 本機とディスプレイを設置場所（丈夫で水平な台の上など）に置きます。
以降は、縦置きを例にして説明します。




- 3** ディスプレイのケーブル（DVI-DまたはVGA）を本機のコネクタ（DVI-DまたはVGA）に接続します。

DVI-D（デジタル接続）の場合、VGA（アナログ接続）よりも、画像が鮮明に表示されます。
接続時は、ディスプレイのマニュアルも合わせてご覧ください。

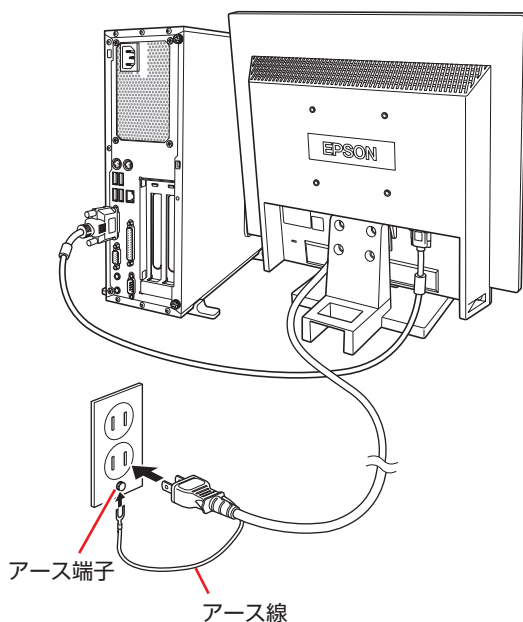


2 台のディスプレイに画面表示する場合は、2 つのコネクタにディスプレイを接続します。
2 画面の切り替え方法は、次の場所をご覧ください。

 「PC お役立ちナビ」 - 「マニュアルびゅうわ」 - 「機種名」 - 「ユーザーズマニュアル」
- 「画面表示機能」 - 「画面表示の切り替え方法」



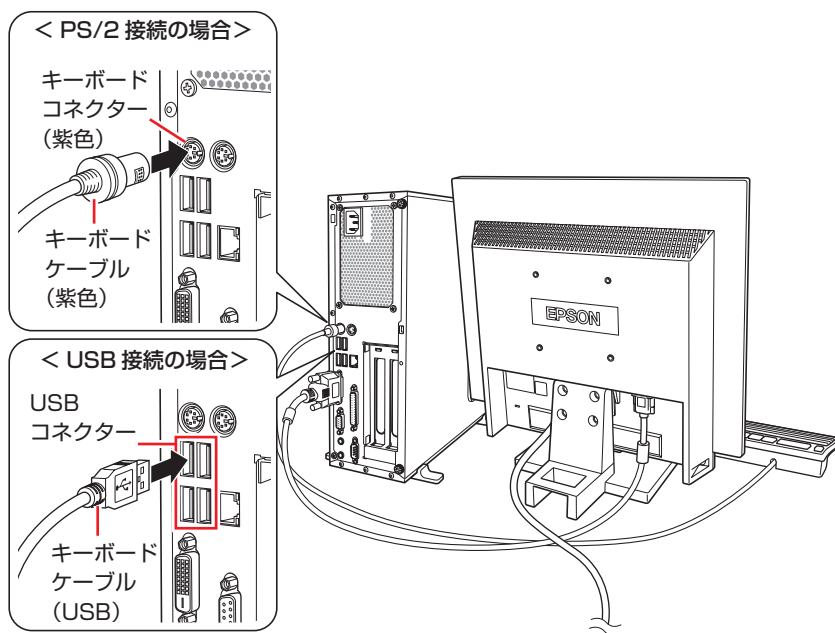
- 4** ディスプレイに同梱の電源コードを、ディスプレイと家庭用電源コンセントに接続します。



- 5** キーボードを接続します。

ここでは一般的な接続方法を説明しています。

※ コードレスキーボードの場合は、別冊子をご覧ください。



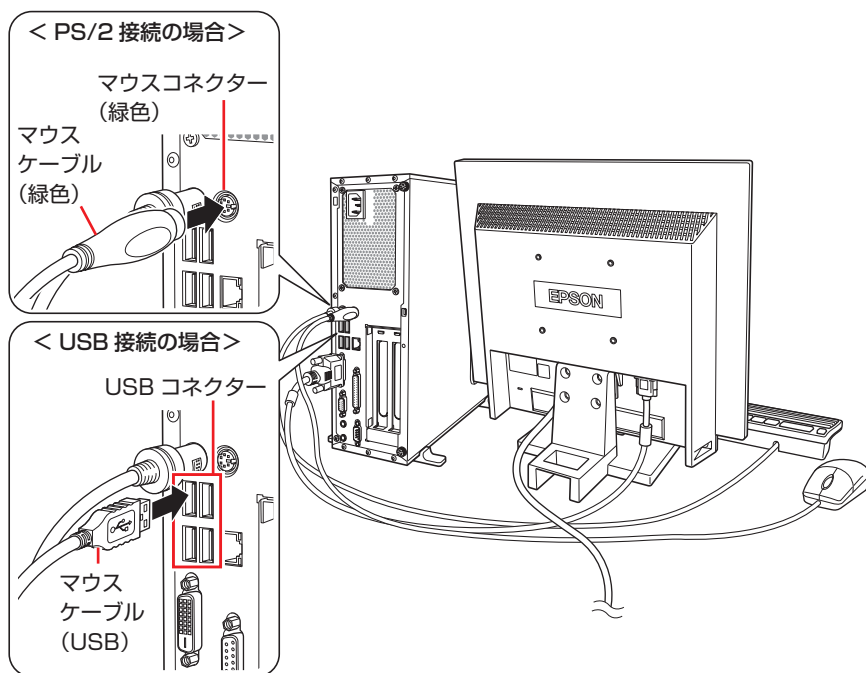
キーボードは操作しやすい位置に置き、傾斜させるときはキーボード底面の両端の脚を起こします。

※ USB キーボードは USB2.0 コネクタに接続することをおすすめします。

6 マウスを接続します。

ここでは一般的な接続方法を説明しています。

※ コードレスマウスの場合は、別冊子をご覧ください。



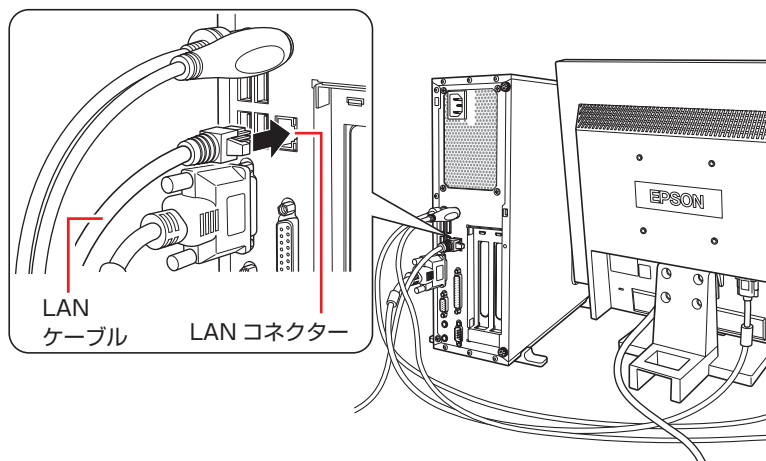
※ USB マウスはUSB2.0 コネクターに接続することをおすすめします。

制限

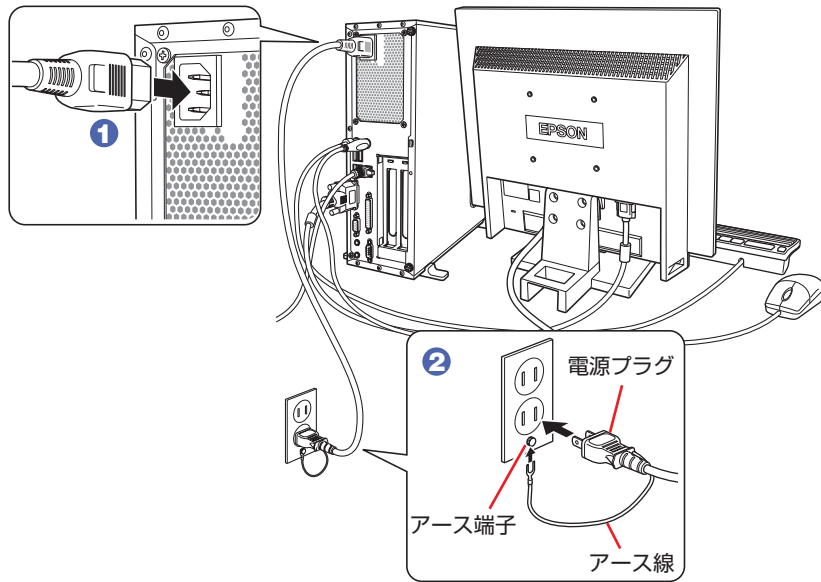
本機が省電力状態や電源を切った状態であっても、マウスによっては底面のランプが光り続けます。これは、お使いのマウスの仕様です。

7 ネットワークを使用する場合は、市販のLAN ケーブルを本機背面のLAN コネクター（品）に接続します。

インターネットへの接続作業は、Windows のセットアップ後に行います。



- 8** 本機に同梱の電源コードを、本機と家庭用電源コンセントに接続します。
コンピューターの近くで、抜き差ししやすい場所にあるコンセントを使用してください。



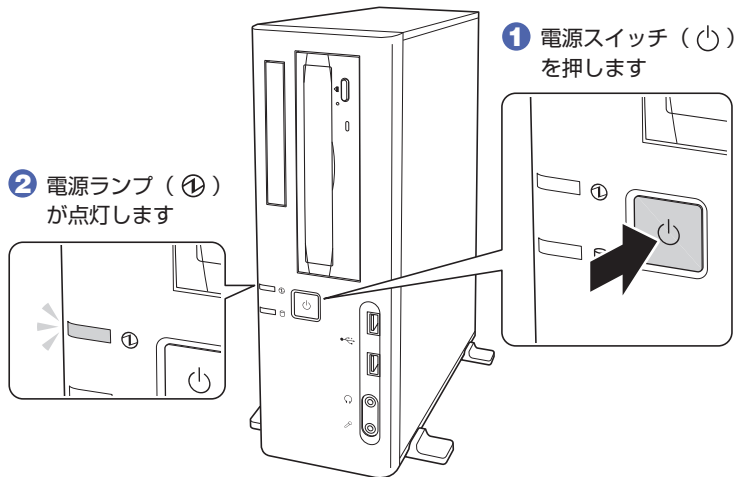
続いて、Windows のセットアップを行います。

4 Windows をセットアップする

本機の電源を入れて、Windows を使用できる状態にするまでの手順を説明します。

1 ディスプレイの電源を入れます。

2 本機の電源を入れます。



しばらくすると Windows のセットアップ画面が表示されます。



<イメージ>



参考

画面が表示されないときは

本機とディスプレイのケーブル類は正しく接続されているか、ディスプレイの電源は入っているか、確認してください。また、ディスプレイ側に表示の切り替え機能がある場合は、表示を切り替えてみてください。



3 Windows のセットアップを行います。

画面の指示に従って、セットアップを行ってください。

セットアップの流れは、次のとおりです。

Windows のセットアップ

「国または地域」、「時刻と通貨の形式」、「キーボードレイアウト」を確認し、[次へ] をクリックします。



新しいアカウントのユーザー名と、コンピューターをネットワーク上で識別するためのコンピューター名を入力してください

ユーザー名、コンピューター名を入力し、[次へ] をクリックします。

※ ユーザー名、コンピューター名は半角英数字を入力してください。

※ コンピューター名は、本機をネットワーク（家庭内 LAN や社内 LAN）に接続して使用する場合などに必要です。ネットワーク上にあるほかのコンピューター名と重複しないように、コンピューター名を変更してください。



ユーザーアカウントのパスワードを設定します

パスワード（任意）を入力し、[次へ] をクリックします。

※ パスワードは必要に応じて入力してください。パスワードを設定したユーザー名（アカウント）でのログオン時に、パスワードの入力が要求されます。設定したパスワードは、絶対に忘れないようにしてください。



ライセンス条項をお読みになってください

画面に表示された内容を確認し、「ライセンス条項に同意します」（2 箇所）にチェックを付けて、[次へ] をクリックします。



コンピューターの保護と Windows の機能の向上が自動的に行われるように設定してください

更新の設定を選択してクリックします。

「推奨設定を使用します」を選択することをおすすめします。



日付と時刻の設定を確認します

「タイムゾーン」が「大阪、札幌、東京」になっていることを確認し、「日付」、「時刻」を設定して、[次へ] をクリックします。



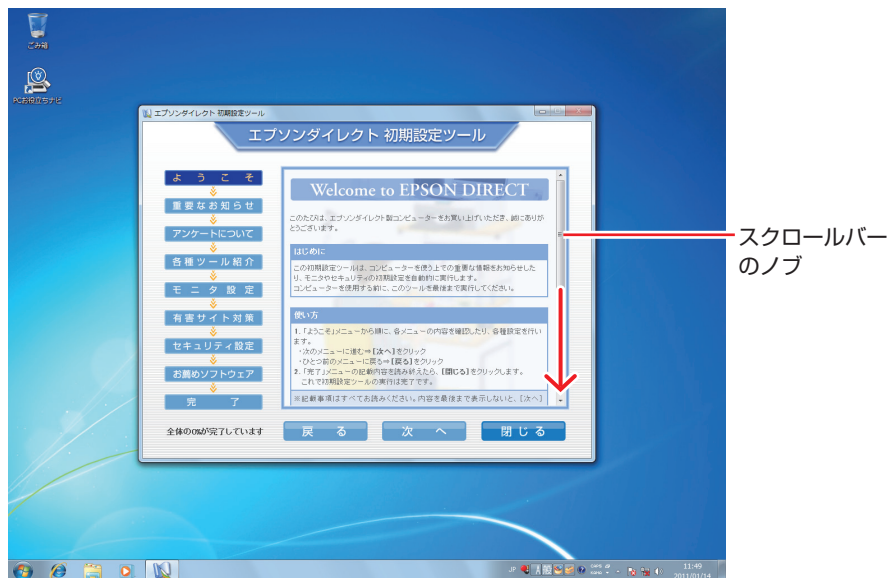
お使いのコンピューターの現在の場所を選択してください

ネットワークに接続している場合、表示されます。

使用する場所を選択します。

4 デスクトップに「初期設定ツール」が表示されたら、画面に従って、添付されているソフトウェアのインストールなどを行います。

画面の記載事項はすべてお読みください。スクロールバーのノブを一番下まで移動させて、すべての内容を表示させないと、[次へ] がクリックできません。



<イメージ>

これでコンピューターを使用できます。

続いて、セットアップ後の作業を行います。



●ライセンス認証

購入時に本機にインストールされている Windows や、「Windows 7 リカバリ DVD」から再インストールを行った Windows は、ライセンス認証を行う必要はありません。

●「初期設定ツール」が起動しないときは

初期設定ツールが自動的に起動しない場合や、初期設定ツールを再実行したい場合は、次の場所から起動することができます。

[スタート] - 「すべてのプログラム」 - 「初期設定ツール」

省電力状態からの復帰方法

本機は、一定時間操作をしないと省電力機能が働いて、画面表示が消えるように設定されています。省電力状態からの復帰は、次の方法で行ってください。

省電力状態	電源ランプの表示	復帰方法
ディスプレイの電源切	点灯（緑色）	マウスやキーボードを操作する
スリープ	点灯（オレンジ色）	<ul style="list-style-type: none">● 電源スイッチを押す● USB キーボードを操作する● USB マウスでクリックする● PS/2 キーボードの Ctrl + Esc を押す
休止状態	消灯	<ul style="list-style-type: none">● 電源スイッチを押す● PS/2 キーボードの Ctrl + Esc を押す

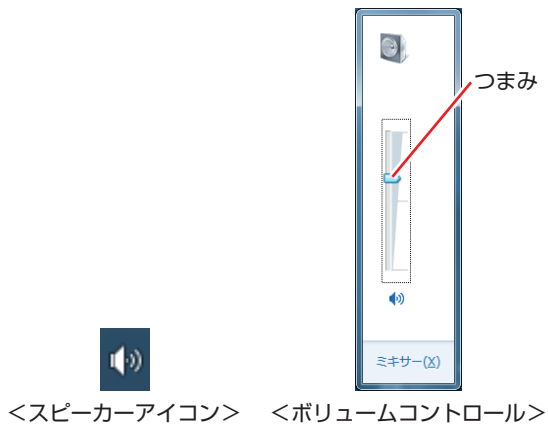
5 セットアップ後の作業

Windows のセットアップと初期設定ツールの設定が完了したら、次の作業を行います。

音量の調節

Windows 起動時に音が鳴らなかったり、音が小さすぎたり、大きすぎたりする場合は、次の方法で音量を調節します。

画面右下の通知領域に表示されている「スピーカー」アイコン(白色)をクリックすると、「ボリュームコントロール」が表示されます。つまみを上下にドラッグして調節します。



Windowsの操作方法を確認する

Windows の操作方法是、次の場所をご覧ください。

[スタート] - 「ヘルプとサポート」

 「PC お役立ちナビ」 - 【お役立ち】

インターネットに接続する

インターネットへの接続は、プロバイダーから提供されたマニュアルを参照して行ってください。

※ 外部ネットワークに接続する際は、電気通信事業法に基づく認証機器に接続してください。

Web ページの閲覧

Web ページの閲覧には、「Internet Explorer」を使用します。

Internet Explorer は、デスクトップ左下のアイコンから起動してください。



<Internet Explorer アイコン>

セキュリティー対策

インターネットに接続する場合は、必ずセキュリティー対策を行ってください。



「PC お役立ちナビ」－「マニュアルびゅう」－「機種名」－「ユーザーズマニュアル」－「インターネットを使用する際のセキュリティー対策」

「ユーザーズマニュアル」では、以下のセキュリティー機能について記載しています。

- Windows Update
- セキュリティーソフトウェア（ウイルスバスター クラウド 90 日版）
- Web フィルタリングソフトウェア（i-フィルター 30 日版）

メールの設定をする

電子メールの利用には、「Windows Live メール」を使用します。



参考

Office をインストールしているときは

Office をインストールしている場合は、メールソフト Outlook を使用することもできます。Outlook の使用方法は、Outlook のヘルプをご覧ください。

Windows Live メール の使用方法

Windows Live メールは次の場所から起動します。

「スタート」－「すべてのプログラム」－「Windows Live メール」

メールアカウントの設定画面が表示されたら、画面の指示に従ってメールアドレスなどの情報を入力します。必要に応じて、プロバイダーから提供されたマニュアルをご覧ください。メールアカウントの追加や変更は、画面上部の「アカウント」－「電子メール」または「プロパティ」で行うことができます。

Windows Live メールの詳細な使用方法は、次の場所をご覧ください。

画面右上の「オンラインヘルプ」



「PC お役立ちナビ」－「お役立ち」

Windows Live サポート (<http://support.live.com>)

古いコンピューターからデータを移す

今までお使いのコンピューターのデータ（メールデータやアドレス帳、Internet Explorer のお気に入りなど）を本機へ移す方法は、次の場所をご覧ください。



「PC お役立ちナビ」－「お役立ち」－「目的から選ぶ」－「購入後の設定」－「Windows XP / Windows Vista のデータを Windows 7 に転送する」

ソフトウェアをインストールする

ソフトウェアを使用する場合は、ソフトウェアのマニュアルを参照してインストールを行ってください。

周辺機器を接続する

プリンターなどの周辺機器を使用する場合は、周辺機器に添付のマニュアルを参照して接続を行ってください。

Windowsやソフトウェアをアップデートする

Windows やソフトウェアは、アップデートして最新の状態でお使いください。

※ アップデートをするにはインターネットへの接続が必要です。

● Windows

自動更新の設定がされていると、更新プログラムが自動的にダウンロード、インストールされ、最新の状態になります。



「PC お役立ちナビ」－「マニュアルびゅーわ」－「機種名」－「ユーザーズマニュアル」－「インターネットを使用する際のセキュリティー対策」

● ソフトウェア

アップデート方法は、ソフトウェアのヘルプやマニュアルをご覧ください。

システムイメージを保存する

事前にシステムイメージを保存しておく、なんらかの原因でWindows が起動しなくなった場合、Windows やソフトウェアを、システムイメージ保存時の状態まで一度にリカバリーすることができます。

不具合発生時に回復できるように、システムイメージを保存しておくことをおすすめします。保存方法は、次の場所をご覧ください。



「PC お役立ちナビ」－「お役立ち」－「カテゴリから選ぶ」－「Windows の操作」－「バックアップ」－「システムイメージの作成」を使ってバックアップを行う方法」

電源を切る

！ 制限

- HDD アクセスランプ点滅中に本機の電源を切ると、収録されているデータが破損するおそれがあります。
- 本機は、電源を切っても、電源プラグがコンセントに接続されていると、微少な電流が流れています。本機の電源を完全に切るには、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 本機が省電力状態や電源を切った状態であっても、マウスによっては底面のランプが光り続けます。これは、お使いのマウスの仕様です。

本機の電源を切る（シャットダウンする）方法は、次のとおりです。

1 [スタート] - [シャットダウン] をクリックします。

Windows が終了し、自動的に電源が切れます。

2 ディスプレイなど、接続している周辺機器の電源を切ります。

👉 参考

シャットダウン時の注意

Windows を複数のユーザーが使用している状態で電源を切ろうとすると、「ほかの人がこのコンピューターにログオンしています。…」と画面に表示されます。この場合は、[いいえ] をクリックし、ログオンしているすべてのユーザーをログオフしてからシャットダウンしてください。

次回電源を入れるときは

本機の電源を入れる際は、次の点に注意してください。

！ 制限

- 周辺機器の電源をいつ入れるかは、周辺機器のマニュアルで確認してください。電源を入れるタイミングがコンピューターより先か後かは、周辺機器により決まっています。
- USB フラッシュメモリーや USB HDD などを接続している状態で本機の電源を入れると、Windows が起動しないことがあります。USB 記憶装置の接続は、Windows 起動後に行ってください。USB 記憶装置を接続した状態で Windows を起動したい場合は、次をご覧ください。



「PC お役立ちナビ」 - 「マニュアルびゅうわ」 - 「機種名」 - 「ユーザーズマニュアル」 - 「起動 (Boot) デバイスの順番を変更する」

- 電源を入れなおすときは、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。電気回路に与える電氣的な負荷を減らして、HDD などの動作を安定させます。

6 ユーザーサポートページ

当社では、コンピューターを安心してお使いいただけるよう、ホームページ上で各種サポート情報を提供しています。

トラブル解決方法や技術情報を見る → **FAQ Search**

※ 「PC お役立ちナビ」からも同様の検索ができます。

最新の UEFI / ドライバー / マニュアルをダウンロードする → **ダウンロード**

※ 「PC お役立ちナビ」右下の「ダウンロード」からもアクセスできます。

修理のご案内や保守・保証情報を見る → **アフターサービス**

アクセス方法

ユーザーサポートページへは、次の場所からアクセスできます。

- <http://www.epsondirect.co.jp/support/>
- 「PC お役立ちナビ」右下の「ユーザーサポート」
- Internet Explorer 「お気に入り」内の「サポートページ (パソコン)」

お気に入り フィード 履歴

- EPSONDIRECT お勧めのサイト
- EPSONDIRECTホームページ
- サポートページ (パソコン)**
- Microsoft の Web サイト
- MSN の Web サイト
- Windows Live
- お気に入りバー
- 日本向けの Web サイト

Epson Direct SHOP
ユーザーサポート

EPSON
EXCEED YOUR VISION

サポートトップ 調べる ダウンロード アップグレード 修理する 各種サービスメニュー サイトマップ オンラインショップ

FAQ Search

FAQ番号から探す 表示

製品名から検索 製造番号から検索 FAQランキング/新着FAQ

FAQ Search ヘルプ

お使いの製品に関するFAQを検索できます。
製品名とOSを選択し、フリーワードを入力後、検索ボタンをクリックしてください。

選択

タイプ
コンパクトPC

フリーワード検索(任意)

製品を選択後フリーワードを入力してください

シリーズ
Endeavor ST

モデル
ST150E

検索

お使いのOS

ダウンロード

- BIOS/ドライバー等
- マニュアル
- 壁紙

機種/OS情報

- 製品仕様
- OSアップグレード技術情報
- Windows XPダウングレード情報
- Service Pack情報

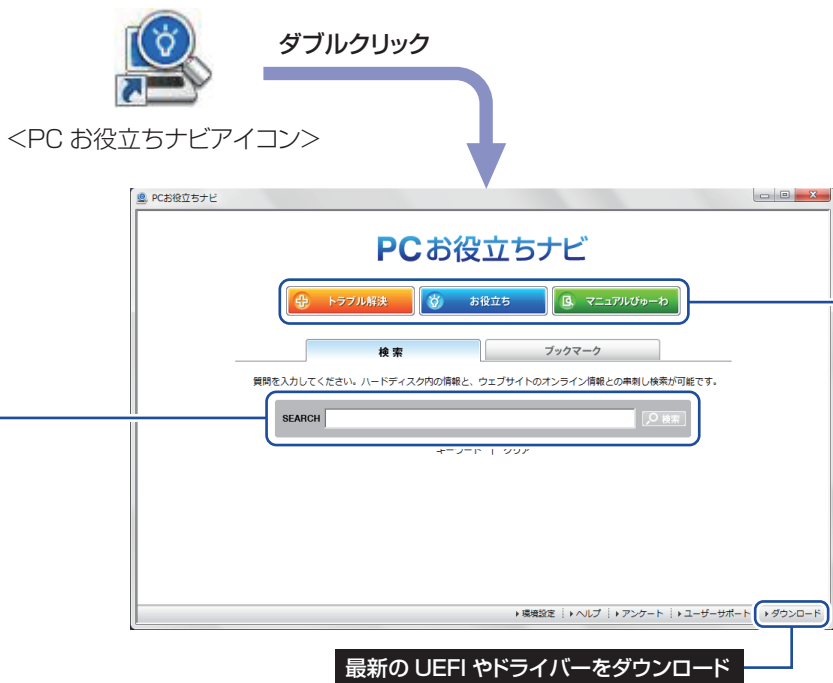
アフターサービス

- 保守・保証
- Web修理受付
- メールサポート

<画面はイメージです>

7 PC お役立ちナビを使う

本機には、知りたい情報を簡単に検索できるサポートツール「PC お役立ちナビ」が搭載されています。困ったときや、役立つ情報を知りたいときなどにお使いください。

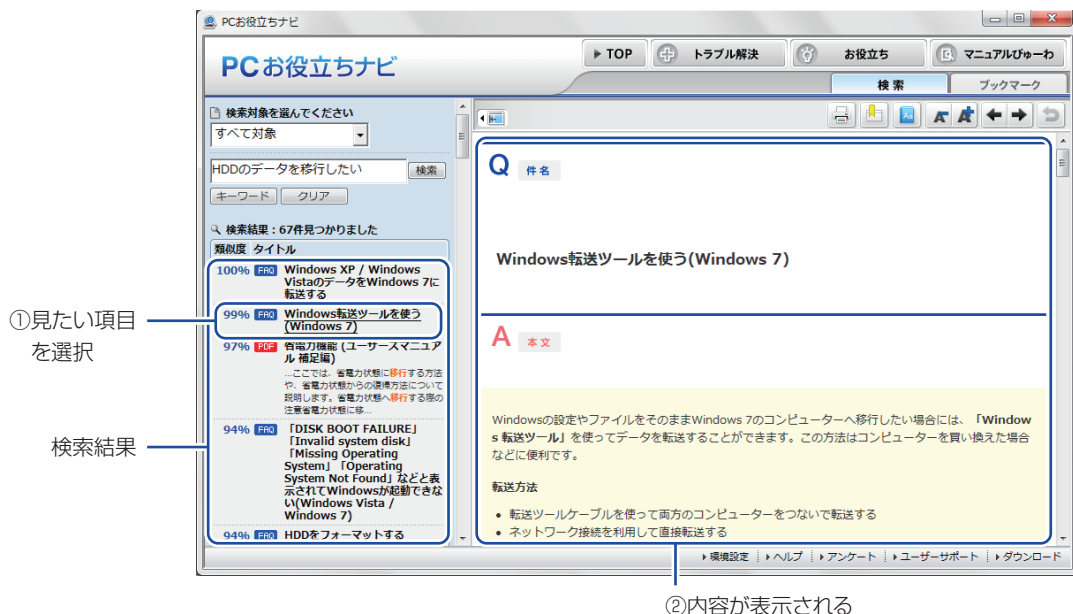


① 検索をする

TOPページから
検索実行

本機に収録されている情報+ユーザーサポート
ページのオンライン情報を一度に検索

※本機に収録されている情報 = サポートコンテンツ・マニュアル (PDF)・ヘルプなど
※インターネットに接続していない場合は、本機に収録されている情報のみを検索します。



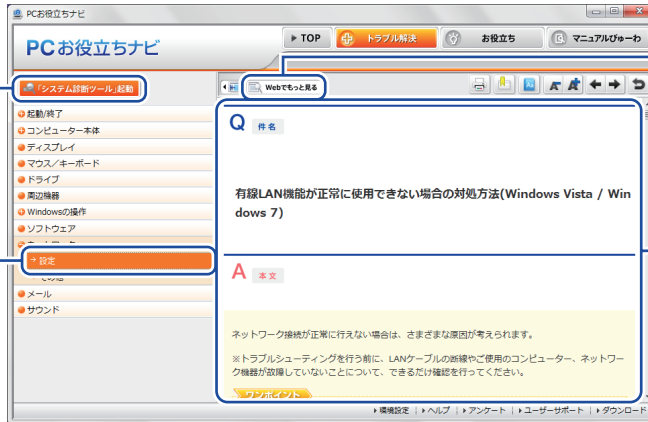
② おすすめコンテンツ・マニュアルを見る

トラブル解決

トラブル解決に役立つ情報や、システム診断ツールを収録しています。

システム診断
を実行

①トラブルの種類
を選択



もっと情報が見たい
とき→Webへ

②内容が表示される

お役立ち

コンピューターの便利な使い方や、役立つ情報を収録しています。

①情報の分類を
選択

②見たい項目を
選択



もっと情報が見たい
とき→Webへ

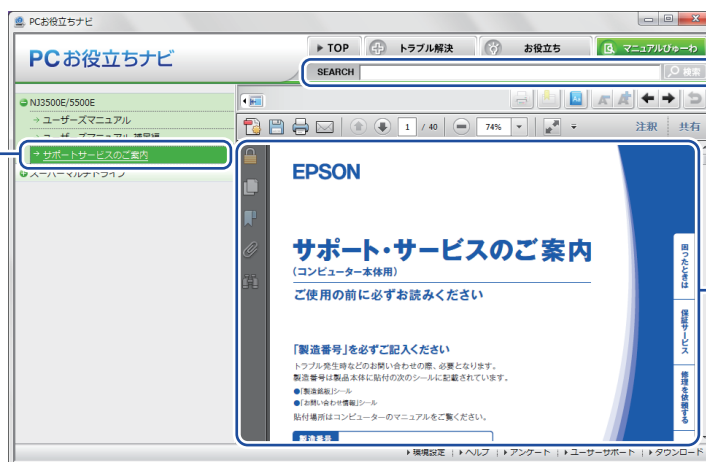
[お役立ち] 内の
情報を検索

③内容が表示される

マニュアルびゅーわ

本機に添付されているマニュアルの PDF データを収録しています。

①見たいマニュアル
を選択



[マニュアルびゅーわ]
内の情報を検索



②マニュアル(PDF)
が表示される

<イメージ>


8 安全にお使いいただくために

このマニュアルおよび製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために絵表示が使われています。




その表示と意味は次のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。





 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 障害や事故の発生を防止するための禁止事項の内容を表しています。

	製品の取り扱いにおいて、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
---	-------------------------------------

- 障害や事故の発生を防止するための指示事項の内容を表しています。

	必ず行う事項（指示、行為）を示しています。
	電源プラグをコンセントから必ず抜くことを示しています。
	アース端子を接地（アース）することを示しています。

 警告	
	<p>電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。</p> <p>取り扱いを誤ると、火災の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none">● 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。● 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。● 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしない。● コンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らず、電源プラグを持つ。 <p>電源プラグは、定期的にコンセントから抜いて、刃の根元や刃と刃の間を清掃してください。</p>
	 <p>電源コードのたこ足配線はしないでください。</p> <p>発熱し、火災の原因となります。</p> <p>家庭用電源コンセント（交流 100V）に接続してください。</p>

警告



本機には、必ず同梱された電源コードを使用してください。また、本機の電源コードは、他の製品に使用しないでください。
感電・火災の原因となります。



破損した電源コードを使用しないでください。感電・火災の原因となります。

電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。

- 電源コードを加工しない。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っばったりしない。
- 電源コードの上に重いものを載せない。
- 発熱器具の近くに配線しない。
- 電源コードを束ねた状態で使用しない。

電源コードが破損したら、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、[別冊](#)『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。



本機は、次のような異常状態のまま使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。

- 異臭や異音がしたり、発煙したりしている。
- 触れないほど熱い。
- 割れや変形があるなど、破損している。

万一、異常状態になった場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。それからカスタマーサービスセンターまでご連絡ください。カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、[別冊](#)『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。

お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。



通風孔など開口部から、本機内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。

感電・火災の原因となります。



水のかかる場所で使用したり、本機の上に水などの入った容器を置いたりしないでください。水などの液体や異物が本機内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

万一、本機内部に水などの液体が入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。それからカスタマーサービスセンターまでご連絡ください。カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、[別冊](#)『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。



光ディスクドライブで、ひび割れや変形補修したメディアを使用しないでください。
飛び散って、けがをするおそれがあります。



本機の分解・改造や、マニュアルで指示されている以外の増設・交換はしないでください。
けが・感電・火災の原因となります。



装置の増設・交換などで本機のカバーを開けるときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを接続したまま作業すると、感電や火傷の原因となります。

警告



アルコール、シンナー、ガソリンなど揮発性可燃物質または可燃性ガスのある場所では使用しないでください。
また、本機の内部や周囲で可燃性ガス含有のスプレーを使用しないでください。
火災の原因となります。



電源プラグのアース端子を接地（アース）してください。
接地しないで使用すると、感電の危険があります。
アースは必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。



アース端子は、絶対にガス管に接続しないでください。
火災の原因となります。



アース端子は、コンセントに挿入または接触させないでください。
感電・火災の危険があります。

注意



小さなお子様の手の届く所に設置、保管しないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。



不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。



湿気やホコリの多い場所に置かないでください。
感電・火災の原因となります。



本機の通風孔をふさがないでください。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
設置する際は、次の点を守ってください。
・押し入れや本箱など風通しの悪いところに設置しない。
・じゅうたんや布団の上などに設置しない。
・毛布やテーブルクロスのような布をかけない。



交流 100V 以外の電源は、使用しないでください。
交流 100V 以外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。



各種コード（ケーブル）は、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。
配線を誤ると、火災の原因となります。

⚠ 注意



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、電源プラグをさわらないでください。
感電の原因となります。



装置の増設・交換は、本機の内部が高温になっているときには行わないでください。火傷のおそれがあります。
本機の電源を切って 10 分以上待ち、内部が十分冷めてから作業を行ってください。



オプティカルマウスの場合、マウス底面にある光学式センサーの光を直接見つめないでください。また、レーザーマウスの場合、マウス底面から目に見えないレーザーが出ています。マウス底面は見つめないでください。
視覚障害の原因となります。



本機にはレーザーの国際規格 IEC60825-1 で定められた、クラス 1 レーザー装置として分類され、その安全基準を満たした光ディスクドライブが搭載されています。
しかしながら、ドライブを分解すると、クラス 1 を超えるレーザーがドライブ外部に出力されることがあります。
ドライブを分解したり、動作中にドライブ内部をのぞきこまないでください。
レーザー被爆による失明や皮膚などの障害の原因となります。



光ディスクドライブのディスクトレイに手を入れ、挟まれないようにしてください。
けがをするおそれがあります。



ヘッドホンやスピーカーは、ボリュームを最小にしてから接続し、接続後に音量を調節してください。
ボリュームの調節が大きくなっていると、思わぬ大音量が聴覚障害の原因となります。



長時間または不自然な姿勢でのコンピューター操作は避けてください。
肩こり、腰痛、目の疲れ、腱鞘炎などの原因となります。



小さなお子様の手の届く場所で、内蔵リチウム電池の着脱、保管をしないでください。
飲み込むと化学物質による被害の原因となります。
万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。



本機を移動する場合は、電源を切り、本機からすべての配線を取り外してください。
コード（ケーブル）などが破損し、火災・感電の原因となります。また、コード（ケーブル）などが引っかかり、けがの原因となります。



連休や旅行などで本機を長期間使用しないときは、安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

9 機能仕様一覧

型番	AT992E		
CPU	プロセッサ	購入時の選択による	
	ソケット	LGA1150 Socket	
チップセット	インテル H81 Express		
システムファームウェア	AMI UEFI (BIOS モードで使用)		
メインメモリー*1	メモリー	PC3-12800 (DDR3-1600 SDRAM)	
	搭載可能容量 (最大)	Windows 7 32bit 版	4GB (システム上利用できるのは約 3GB まで)
		Windows 7 64bit 版	16GB
スロット	DIMM スロット (240 ピン) × 2 (同一容量 2 枚 1 組で使用の場合、デュアルチャネルで動作)		
ビデオ機能 (CPU 内蔵)	コントローラー	インテル® HD グラフィックス (種類は CPU による)	
	メモリー (メインメモリーと共用)	Windows 7 32bit 版	メインメモリー 2GB 時 最大 784MB メインメモリー 4GB 時 最大 1560MB
		Windows 7 64bit 版	メインメモリー 2GB 時 最大 791MB メインメモリー 4GB ~ 16GB 時 最大 1696MB
表示解像度 (最大)*2	1600 × 1200、1920 × 1200 (ワイドディスプレイ接続時) True Color 32 ビット (約 1,677 万色)		
HDD	シリアル ATA600MB/s 対応 3.5 型 HDD (容量、台数は購入時の選択による)		
光ディスクドライブ (オプション)	シリアル ATA 対応 5.25 型光ディスクドライブ (種類は購入時の選択による)		
マルチカードリーダー (オプション)*3	コンパクトフラッシュ、SD メモリーカード (SDHC/SDXC 対応)、マルチメディアカード、メモリースティック (PRO/PRO-HG/XC 対応)、スマートメディア		
サウンド機能	インテル ハイ・デフィニション・オーディオ対応コントローラー Realtek 製 ALC662-VD		
ネットワーク機能	1000Base-T/100Base-TX/10Base-T 対応インテル製 I217V コントローラー		
マウス/キーボード	購入時の選択による		
インタフェース	USB2.0	4 (前面 × 2、背面 × 2)	
	USB3.0	2 (背面 × 2)	
	LAN	1 : RJ-45	
	サウンド	前面 : ヘッドホン出力 × 1、マイク入力 × 1、モノラルスピーカー内蔵 背面 : ライン入力 × 1、ライン出力 × 1	
	ディスプレイ	2 (DVI-D × 1、VGA × 1) : DVI-D24 ピン、VGA ミニ D-SUB15 ピン	
	キーボード	1 : PS/2 互換 ミニ DIN 6 ピン	
	マウス	1 : PS/2 互換 ミニ DIN 6 ピン	
	シリアル	1 : D-SUB 9 ピン	
パラレル	1 : D-SUB 25 ピン ECP/EPP 対応		
ドライブベイ	5.25 型ドライブベイ	1	
	3.5 型 HDD ベイ	2	
拡張スロット	2 : コネクター仕様は PCI + PCI Express x4 または PCI + PCI (購入時に選択した拡張ユニットによる) ボード長 178mm まで搭載可能		
セキュリティーチップ (TPM)	TPM 1.2 対応 Infineon SLB9655TT1.2 コントローラー		
本体寸法 (幅 × 奥行 × 高さ)	99 × 383 × 310mm (スタンド・突起部を除く)		
質量	約 6.8kg (基本構成時)		
電源	AC100V ± 10% (50/60 Hz) 容量 : 250W		
消費電力 (最大定格出力時)	305W (理論値)		
動作環境	動作温度 : 10 ~ 35℃、動作湿度 : 20 ~ 80% (ただし、結露しないこと)		

*1 新規メモリー追加や最大搭載可能容量変更の可能性あり (当社ホームページ参照)。

*2 本機搭載のビデオコントローラー出力解像度 (実際の表示は接続するディスプレイの仕様による)。

*3 記載は対応規格であり、すべてのカードでの動作を保証するものではありません。

本書に記載している仕様は製品発売時の情報です。最新情報は次の場所をご覧ください。



[PC お役立ちナビ] - 画面下 [ユーザーサポート] - FAQ 番号 : 27447

MEMO

使用限定について

本製品は、OA 機器として使用されることを目的に開発・製造されたものです。

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全性維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮頂いた上で本製品をご使用ください。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、生命維持に関わる医療機器、24 時間稼動システムなど極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用は意図しておりませんので、これらの用途にはご使用にならないでください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品は日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売しております。したがって、本製品の修理・保守サービスおよび不具合などの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないこともあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬時電圧低下について

本製品は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合を生じることがあります。

電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。(社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示)

有寿命部品について

当社のコンピューターには、有寿命部品（液晶ディスプレイ、ハードディスク、冷却用ファンなど）が含まれています。有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や条件により異なりますが、本製品を通常使用した場合、1 日約 8 時間、1 ヶ月で 25 日間のご使用で約 5 年です。

上記目安はあくまで目安であって、故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。

なお、長時間連続使用など、ご使用状態によっては早期にあるいは製品の保証期間内であっても、部品交換（有料）が必要となります。

JIS C 61000-3-2 適合品

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

電源の入力波形は、正弦波のみをサポートしています。

レーザー製品安全基準

<光ディスクドライブ搭載の場合>

本機に搭載されている光ディスクドライブは、レーザー製品の安全基準（JIS C 6802、IEC60825-1）に準拠したクラス 1 レーザー製品です。

<レーザーマウス添付の場合>

本機に添付されているレーザーマウスは、レーザー製品の安全基準（JIS C 6802、IEC60825-1）に準拠したクラス 1 レーザー製品です。

著作権保護法について

あなたがビデオなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

テレビ・ラジオ・インターネット放送や市販のCD・DVD・ビデオなどで取得できる映像や音声は、著作物として著作権法により保護されています。個人で楽しむ場合に限り、これらに含まれる映像や音声を録画または録音することができますが、他人の著作物を収録した複製物を譲渡したり、他人の著作物をインターネットのホームページなどに掲載（改編して掲載する場合も含む）するなど、私的範囲を超えて配布・配信する場合は、事前に著作権者（放送事業者や実演家などの隣接権者を含む）の許諾を得る必要があります。著作権者に無断でこれらの行為を行うと著作権法に違反します。

また、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

パソコン回収について



当社では、不要になったパソコンの回収・再資源化を行っています。

PC リサイクルマーク付きの当社製パソコンおよびディスプレイは、ご家庭から廃棄する場合、無償で回収・再資源化いたします。

パソコン回収の詳細は下記ホームページをご覧ください。

<http://shop.epson.jp/guide/recycle/>

ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容および製品の仕様について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容は万全を期して作成いたしました。が、万一誤り・お気付きの点がございましたら、ご連絡ください。よろしくお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

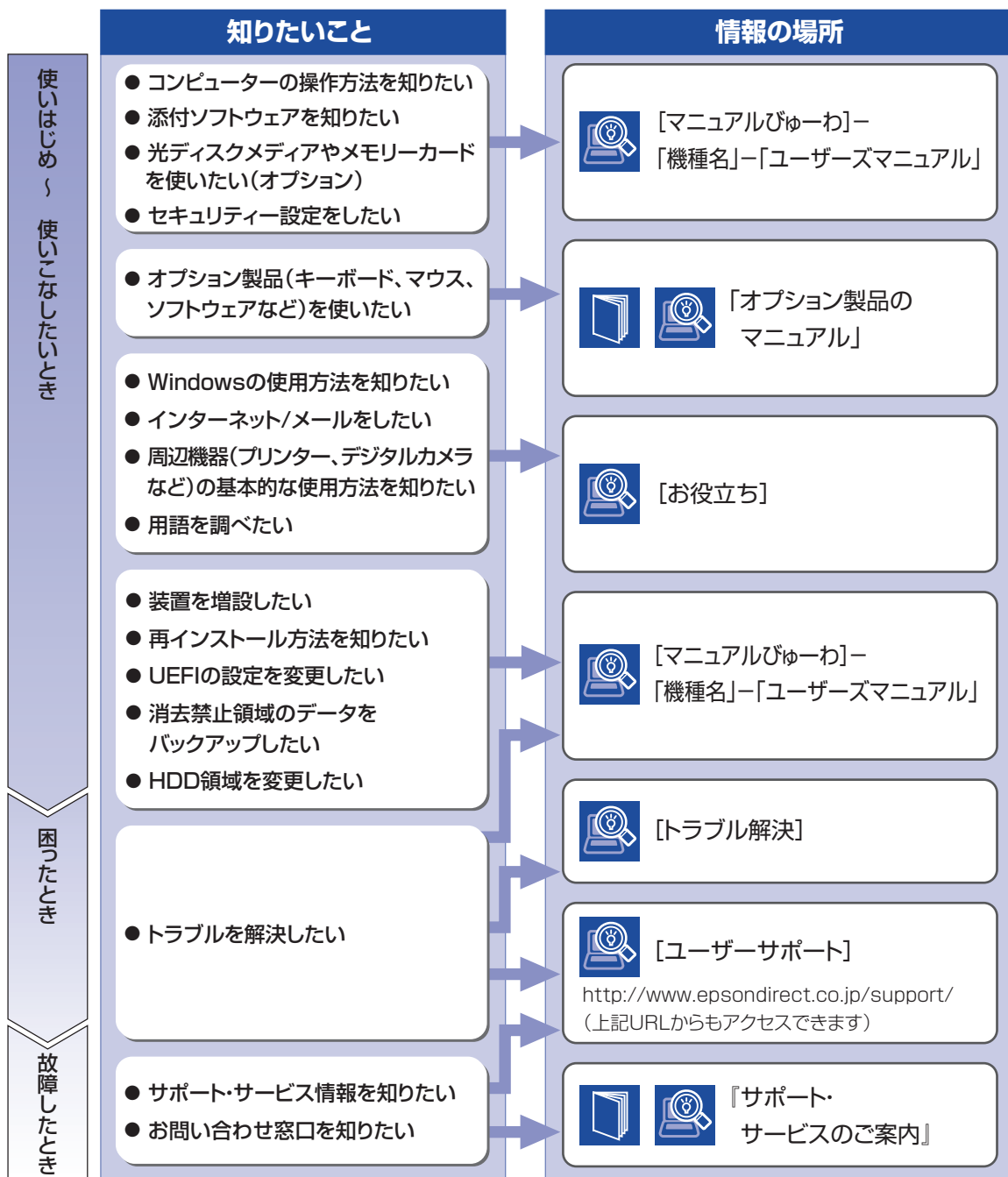
商標について

- Microsoft、Windows、Windows Live、Internet Explorer、Hotmail、MSN、Outlook は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Core、Pentium は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- PS/2 は International Business Machines Corporation の登録商標です。
- ウイルスバスター、およびウイルスバスタークラウドは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- コンパクトフラッシュ（CompactFlash）は、米国 SanDisk 社の登録商標です。
- Memory Stick、マジックゲート、Memory Stick のロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- Multi Media Card™ は、ドイツ Infineon Technologies AG 社の商標です。
- SD ロゴは商標です。
- SmartMedia™、及びそのロゴは、株式会社 東芝の商標です。
- PCI Express は PCI-SIG 社の商標です。

そのほかの社名、製品名は、一般にそれぞれの会社の商標または登録商標です。

情報マップ (知りたい情報はどこにある?)

本機に関する情報は、次の場所で見ることができます。



PCお役立ちナビ  p.22

コンピューターの画面で見る電子の情報です。



紙マニュアル

紙で添付されている情報です。